

平成 19 年度ホタテガイ採苗情報 (第 7 報)

平成 19 年 7 月 30 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「唐丹湾では、採苗器 1 袋当たり 6,700 個の付着」

1 稚貝の付着状況 (7/26、唐丹湾)

水深 10m 層に、4 月 24 日から 3 カ月間、5 月 9 日から 2.5 カ月間、5 月 22 日から 2 カ月間にわたり垂下した採苗器の付着状況を調べました。

付着数は、それぞれ 5,275 個/袋、6,725 個/袋、3,553 個/袋でした。

何れの採苗器でも、付着数の最も多かった昨年の値 (付着数：17,651 個/袋) には及ばないものの、例年よりも多くの稚貝が付着しています。

また、400 個/袋を越える個体が殻長 10mm 以上に成長しています。

なお、害敵生物であるコツブムシやヒトデは、まったく確認されませんでした。また、ムラサキガイとキヌマトイガイの付着数は少ない結果でした。

2 付着盛期と採苗器の投入適期

これまでの調査結果から、今年の釜石地区での付着のピークは5月中～下旬で、採苗器の投入適期は5月中旬であったと考えられます。

唐丹湾のように付着数が多く、さらに大型個体の割合が高い地区では、採苗器内が過密状態になり、稚貝の成長が停滞したり、稚貝が弱る可能性があります。

付着稚貝の数とサイズを十分に把握した上で、早めに分散するようにしましょう。

また、稚貝の採取にあたっては、投入した採苗器全てから、できるだけ大きい個体を選ぶようにしましょう。

これから水温、気温とも高い時期をむかえますので、高温により稚貝を弱らせないため、「ホタテガイ養殖の手引き (平成 18 年 7 月)」を参考に作業を進めてください。

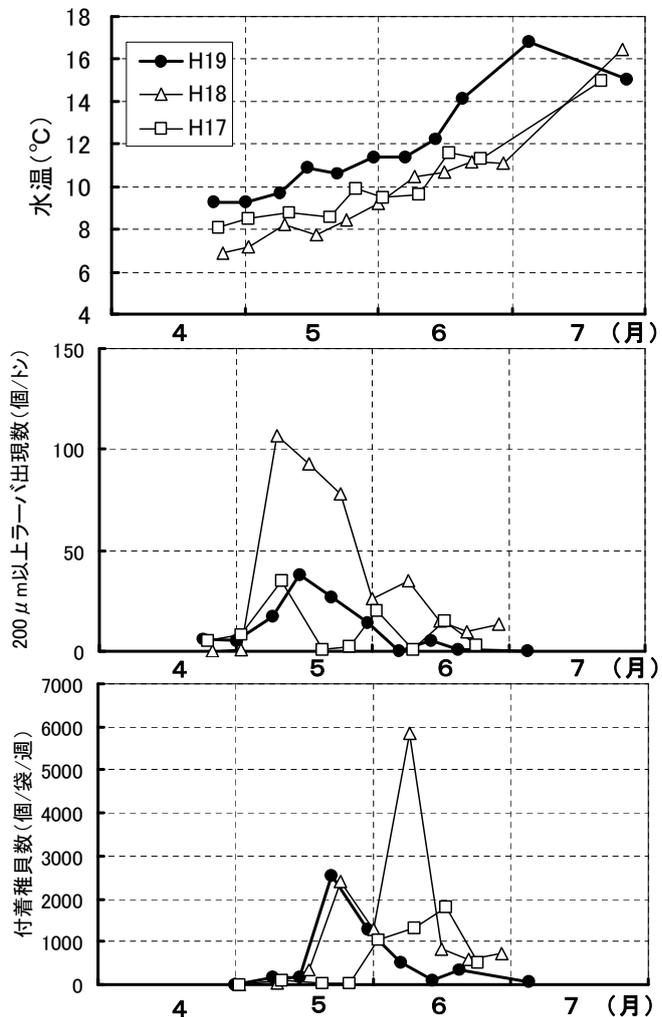


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

表 唐丹湾におけるホタテガイ稚貝の付着状況 (平成 19 年 7 月 26 日)

投入月日	付着稚貝 (個/袋)						計
	1~2mm	~4mm	~6mm	~8mm	~10mm	10mm~	
4月24日	42	768	1,558	1,687	818	403	5,275
5月9日	88	1,435	2,194	1,383	1,057	568	6,725
5月22日	30	487	855	821	709	651	3,553

注 殻長 1mm 以上の個体について測定

今期の採苗状況調査は、今回で終了となります。ご協力ありがとうございました。